



自分の花を咲かせよう



今年の加中祭、加茂谷中学校だからできる、加茂谷中学校にしかできない文化祭にしようと、生徒会が中心となって短期間での企画・準備・運営をしました。

また、能登半島地震、夏休みに出された南海トラフ地震臨時情報を踏まえ、防災に関するコーナーも作り、阿南市危機管理課、社会福祉協議会、加茂谷公民館の皆さんの協力により、避難所体験や炊き出しなどを行いました。危機管理課の方から能登半島へ支援に行った時のお話があり、「中学生も避難所では大きな力になる」、「子どもも遠慮せず思っていることを言うべきだ」等のお話を真剣に聞きました。その後、みんなで食べたカレーライスはとてもおいしかったです。

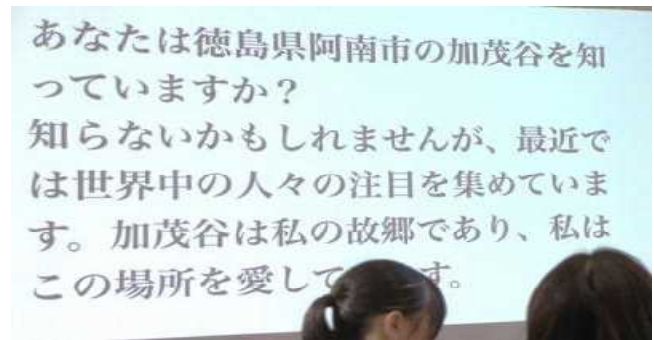
たくさんの保護者や地域の皆さんが見守ってくださる中、加中生一人一人が、それぞれの個性を発揮し、普段の生活の中では出さないような一面も、様々な形で表現することができました。今年のテーマ「～これ楽しいです～」を具体的な形にして表現する姿は輝いていました。

10月の生徒会目標

運動会(10月27日)を全力で楽しもう

〈文化祭終了後の生徒会長の言葉〉
今年、準備期間も短くて不安だったけど、みんなで協力して最高の文化祭になりました。一・二年生の皆さん、来年は、今年より二倍も、三倍もさらに楽しい文化祭にしてください。





文化祭では、人権意見発表，英語スピーチ，科学経験発表等，これまで学習してきた成果も発表することができました。それぞれ，希望と笑顔あふれる未来につながるものでした。

その中で，1年生は総合的な学習で，加茂谷の課題について考えるために地域の方々と交流した内容を発表しました。そして，加茂谷のゆるキャラを作ることになり，アイデアを募集したところ，22点の応募がありました。応募作品は加茂谷中学校ホームページに掲載していますので，ご覧ください。



右の二次元コードを読みとってください。
加茂谷中学校ホームページにつながります。

①加茂谷ゆるキャラグランプリ2024

②学校通信 第6号

①



②

令和6年度も前期から後期へ・・・未来に向かって1日単位の小さな目標を，着実に実行していこう！

「毎日バットを振る」というよりは，じゃあ「毎日何分間」とか「毎日何本振っていく」とかそのくらい明確じゃないと，ちゃんとこなせないんじゃないかと思います。

(大谷翔平が「目標に数字を入れること」の大切さについて語った言葉)

大谷選手の言葉には「目標」という単語が，驚くほどたくさん出てくる。どんな分野においても，小さな目標を日々積み重ねることが，私たちが夢の実現へと連れて行ってくれる。そして，「目標の細分化」は，私たちの成長にとって不可欠な行動習慣を根づかせてくれる。

たとえば，今まで何のトレーニングもしていない人が，いきなり毎日30回腕立て伏せをするという目標を立てても，長続きしない。筋力はもちろん，そのノルマを継続させるメンタルの強さもないからだ。

しかし，毎日5回の腕立て伏せ，という簡単さなら長続きする。これがしばらく続けば，日に7回の腕立て伏せができるようになっていく自分に気がつくだろうし，やがては「毎日30回腕立て伏せ」ができる自分に出会える。

一日単位で，理想までの道のりを細分化した目標を設定し，それを着実に実行する。このとき，自分の人生には今日という一日しか存在しないと思うと，理屈抜きに，かけがえのない一日を精いっぱい頑張れるようになる。

(『大谷翔平 勇気をくれるメッセージ80』より)